

在学留学報告書（1年留学）

留学の前半終了時：シート番号1、2、4、7のみ記入して提出してください。

留学の後半終了時：シート番号0、3、5、6、8を記入して提出してください。

●基本情報

留学開始年度	2023	留学種別	交換
留学先国	中国	留学先大学名	華東師範大学
本学での所属学部（研究科）・学科・専攻			
外国語学部	アジア言語学科	中国語専攻	
出発時の年次			
留学期間（実際の渡航期間）	2023	年	2月～2024年1月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した（会社名： 仲介手数料 円） <input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった（以下の質問には回答不要）
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ（以下の質問には回答不要）
授業料総額： 円
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計： 円
支払い方法：

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請（申請の場所： ）	
必要書類	
プリントアウトした申請表、パスポート原本とコピー、JW202表、入学通知書	
取得にかかった期間（申請してから要した期間）	取得費用
速達で2日（通常は5日）	14,800円（通常は8000円だが、寮の申請などビザ取得に急を要したので、速達で申請した）
具体的な申し込み手順（例：必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。）	
必要書類の準備→オンラインで必要事項記入→予約→申請に行く→ビザを受け取りに行く	
ビザ申請の際の面接	
<input type="checkbox"/> 面接有（質問の内容 / 言語等： ） <input checked="" type="checkbox"/> 面接無	
ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
華東師範大学側から寮の予約などする際、必ずビザが必要なので、早めに申請準備をしておいた方がいいと思います。また必要書類の作成など、手続きは全て自分で行わないといけないので、注意が必要です。	

現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	

3. 住居の確保

どのように住居を見つけましたか？	
華東師範大学から春学期留学生のグループWechat、また個人メールを通じて、留学生専用寮の案内が送られてきたので、そこから自分に合った部屋を探しました。	
住居の申し込み手順	
華東師範大学からグループWechat、Gmail等を通して寮の案内メールが送られる→氏名、パスポート情報、出国日、希望の部屋タイプを申請→寮の予約リンクが送られる→決まった日時に予約リンクにアクセスし、希望する部屋を予約する	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用：170,000 円	内訳：
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
共有：洗面台、シャワー、トイレ、Wi-Fi、タンス その他：ベッド×2、机、椅子	
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input checked="" type="checkbox"/> 朝 <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input checked="" type="checkbox"/> 夜) <input checked="" type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 5~10 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
寮の予約リンクを大学からもらう時、中国へのビザ番号と中国行きの航空券番号の入力が必須でした。私が渡航する時は、まだコロナの影響があり、ビザの申請がスムーズにいかなかったので、寮申請を送るのが遅れ、かなり焦りました。何よりもビザと航空券を取得してすることをお勧めします。また、寮を申請する際、決められた日時があったのにも関わらず、それ以前から申請できるようになっていました。また、逆に空きがあるのに時間になっても予約できない部屋もあり、希望していた部屋を予約できませんでした。私の住んでいた寮には、お風呂とトイレが部屋についていないなど設備が不十分なタイプのものもあるので、部屋に希望がある場合は、早めに予約した方がいいです。	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3.費用の合計とその内訳	
費用：	内訳：
円	

4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ	<input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前:)
<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()
5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
7.設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
8.食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
9.大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計: 分	
10.住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	

4. 保険への加入

日本で加入した海外傷害保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 大学からの紹介で加入した <input type="checkbox"/> 自分で保険会社を探して加入した <input type="checkbox"/> その他 ()	
保険の費用:	162,400 円/ 12 ヶ月分
留学先での保険について	
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があった <input checked="" type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険はなかった (以下の質問には回答不要)	
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があったが、日本で加入した海外旅行保険により免除申請をし認められた	
費用:	円
具体的な加入手順や支払い方法等:	

5. 航空券手配

利用航空会社	ANA
費用	(<input checked="" type="checkbox"/> 片道 / <input type="checkbox"/> 往復) 227,260 円
渡航経路	成田国際空港→浦東国際空港
航空券手配方法 ※利用した旅行サイトや旅行会社、比較サイト等があれば記載してください。	

6. その他の事前準備

その他、済ませておくべき準備があればお書きください。(現金の両替、携帯電話解約、荷物発送等)
現金両替、中国の銀行で口座を作る、携帯SIMロック解除、VPN契約

●現地到着後～授業開始までの日程 (入学手続き・オリエンテーション・プレイスメントテスト等)

項目	内容
到着日時	2月 24日 12時
到着空港名	浦東国際空港
キャンパスや滞在先への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> ホストファミリーの出迎え <input type="checkbox"/> 知人等の出迎え <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他 ()
公共交通機関やタクシーで移動する際の行き方	空港のタクシー乗り場から乗車し、行き先住所を伝える
移動にかかった費用	4,600円
※以下、授業開始までの日程	
3月 2日	クラス発表
3月 3日	オリエンテーション
3月 6日	授業体験
3月 9日	授業開始
3月 11日	新入生活動

●留学先での履修科目について

※全留学期間分を記入してください。

留学先で取得した単位数合計	#REF!	credit
	#REF!	ECTS
本学で認定された単位数合計	#REF!	単位

●履修登録の方法 (留学前半分)

履修登録の時期	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (授業は決まっていたので、履修登録の必要なし)	
<input type="checkbox"/> 到着後 <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 <input type="checkbox"/> その他 ()	
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input type="checkbox"/> 変更できた <input type="checkbox"/> 追加できた <input type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 変更できない	
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	

※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	口語
	開講学部	
	担当教員名	徐金倩
	時間数 (1週間当たり)	2コマ
	授業内容	基本は教科書の新出単語と本文を使って、表現や関連語句を学びます。また、関連語句を使って、自分で作った例文や作文を発表したり、先生が出す教科書に関連した質問について、グループで話し合っ発表したりしました。他の授業に比べて中国語を使って自分の意見を言う機会が多かったです。
	試験・課題等	課題：教科書の予習、復習、テーマについて3分程度の回答を録音、新出単語を使って簡単な文を作る 試験：指示されたお題について、3分程度自分の考えを伝える
	感想・自己評価等	今までは全て中国語で発表する機会が少なかったので、この授業はとて勉強になりました。特にグループ内でディスカッションをする時、日本にいるとどうしても日本語を使ってしまいがちですが、ここでは中国語しか通じないため、必死に自分の知っている単語を繋げて意見できたのも良かったと思います。この授業を受けて、中国語を話すことに緊張や抵抗が少なくなりました。最後は友達と遊んだ時やお店で注文する時など、ネイティブと会話する場面で、聞き返されることがほぼなくなり、自分の発音に成長を感じました。

2	コース名/科目名	総合
	開講学部	
	担当教員名	趙丹丹
	時間数 (1週間あたり)	4コマ
	授業内容	教科書の新出単語と関連表現を学んだ後、本文を読み解きます。本文に出てきた相似表現の確認や、文法の確認問題を解いた後、150字以上で作文をします。読解と作文力が鍛えられます。
	試験・課題等	課題：教科書の予習、復習、文法問題、短文作成、150字以上の自由作文 試験：語句空欄穴埋め、単語を使って短文作成、長文読解、150字以上の自由作文
	感想・自己評価等	この授業の教科書は、中国の結婚文化から、中国人の性格、携帯依存症などの社会問題まで、幅広い内容を取り扱っているものでした。先生もトピックに合わせて中国のことを掘り下げて解説して下さったので、楽しく中国を知ることができました。授業は全て中国語なので、初めは先生の話について行けなかったらと不安でしたが、聞き取りやすい標準語で丁寧に教えて下さったので、リスニング力も向上しました。作文が一番難しかったのですが、なんとか辞書で似た表現を探したり、教科書に則った書き方を心がけるようにしたため、学期末には200字以上の自由作文も書けるようになっていました。4つの科目の中では一番楽しかった授業でした。

3	コース名/科目名	報刊
	開講学部	
	担当教員名	徐金倩
	時間数 (1週間あたり)	2コマ
	授業内容	中国の時事ネタについて、人民日報など実際の新聞を読み解きます。また、教科書と類似の記事を読んだ後、ペアになって質問をします。書面語の読み解きが主で、HSK対策につながります。
	試験・課題等	課題：新出単語の意味調べ、文法確認問題 試験：比較的短い文の読解、長文読解
	感想・自己評価等	これは一番難しい授業でした。トピックは一人っ子政策の弊害や、高齢化などの社会問題と、国内市場の競争を取り扱った経済問題が多かったです。見たことのない単語が多く出てきたり、一文が長く、どこに修飾されているのかわからなかったりと、読み解くのにかかりました。ですが、先生が常に、「誰が、どこで、何をしたか」といったように、段落で分けて問題を出しながら解説して下さったので、難しい文でも頭に入ってきました。何より、試験が実力で、HSKの模擬問題を使ってくれたことが嬉しかったです。教科書を読み解きながら、試験対策をすることで、HSKの勉強にもつながったので、大変でしたがとてもためになりました。

4	コース名/科目名	听力
	開講学部	
	担当教員名	赵丹丹
	時間数（1週間当たり）	2コマ
	授業内容	その課に関連したいくつかの質問に、グループで話し合います。テーマを理解したら、録音を聞き、問題に答えます。リスニング力が向上します。
	試験・課題等	課題：教科書の録音を聞き問題に答える、正誤については正解の根拠を調べる、友達にインタビューし発表する 試験：聞き取り問題
	感想・自己評価等	この授業では5分ほどの会話を聞いて、質問に答えるものでした。リスニングには自信があったのですが、最初は正直半分も聞きとれませんでした。授業の録音もままならず、街でもネイティブの発音が早すぎて聞きとれず、リスニングの面ではとても悔しい思いをしました。このままでは嫌だと思い、ドラマを見たり、中国人インフルエンサーの配信を見たりして、まずは早さに慣れることから始めました。すると、少しずつ単語が拾えるようになってきて、意味が分かってきました。最後には、中国で生活するには全く困らなくなり、授業の総合評価も94をもらうことができました。この勉強は短い期間でも成長を感じられたので、今後もずっと続けていきたいと思います。

5	コース名/科目名	
	開講学部	
	担当教員名	
	時間数（1週間当たり）	
	授業内容	
	試験・課題等	
	感想・自己評価等	

6	コース名/科目名	
	開講学部	
	担当教員名	
	時間数（1週間当たり）	
	授業内容	
	試験・課題等	
	感想・自己評価等	

● 1週間のスケジュール (授業・課外活動・勉強・プライベート等 毎日の生活について記入してください。)

	(例)	月	火	水	木	金	土	日
6:00								
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床		
8:00		口語	総合	報刊	総合	听力		
9:00	授業	口語	総合	報刊	総合	听力	起床	起床
10:00	授業	総合	口語	総合	听力	報刊		
11:00	授業	総合	口語	総合	听力	報刊	友人と遊ぶ	週末の課題
12:00		ご飯	ご飯	ご飯	ご飯	ご飯	友人と遊ぶ	週末の課題
13:00	授業						友人と遊ぶ	週末の課題
14:00	授業	課題	課題		課題	課題	友人と遊ぶ	自由時間
15:00	授業	課題	ジム	友人と遊ぶ			友人と遊ぶ	
16:00	買い物	課題	ジム	友人と遊ぶ			友人と遊ぶ	勉強
17:00		自由時間	買い物	友人と遊ぶ	勉強		友人と遊ぶ	
18:00	友人と過ごす		外食			外食	友人と遊ぶ	
19:00			外食	バトミントン			友人と遊ぶ	
20:00	勉強	勉強		バトミントン	ジム	友人と過ごす	バトミントン	グラウンドで運動
21:00	勉強		勉強		ジム	友人と過ごす	バトミントン	グラウンドで運動
22:00			勉強	課題		友人と過ごす		
23:00	就寝					友人と過ごす		
0:00		就寝	就寝	就寝	就寝			就寝
1:00						就寝	就寝	

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

留学先国の特徴や雰囲気等

人の数が日本とは桁違いなので、ビル群や駅のスケールの大きさに圧倒されました。大学が上海中心部に位置していたため、近くには大型商業施設があり、いつも活気に溢れていました。また、中国人は良くも悪くも裏表がなく、自分の思うままに生活しているので、中国語を勉強している外国人だと分かると、どうして中国語を勉強しているの？中国のどこが好き？Wechat交換しない？など、声をかけられることが多々ありました。逆に、お店の人がすごく無愛想だったり、割り込みをされたりすることもあり、最初はカルチャーショックをかなり受けました。しかし悪気がある訳ではないので、環境と中国語に慣れれば、人の目を気にせず自然体で生活できる雰囲気だと思います。

留学先大学の特徴や雰囲気等

校内は広くて緑が多い、比較的綺麗な大学です。施設内にはメニュー豊富な食堂や、静かに勉強ができる図書館やカフェ、自由に出入りできる運動場もあり、私もよく利用していました。留学生が多数在籍し、留学生向けのサークルがあるので、様々な国籍の方と交流できます。特に韓国人が多かったため、大学内を歩いていると、中国語に混じって韓国語が聞こえてきたのが印象的でした。

授業について

事前のクラス分けテスト結果によってクラスが決まったので、自分の実力にピッタリでした。授業は全て中国語でしたが、先生が優しく、聞き取りやすい中国語で教えて下さったので、ついていけました。クラスには韓国人が大半だったので、韓国の友達が沢山できました。その他にも、授業のグループワークを通じて、フランス人やイタリア人、タイ人とも友達になりました。異なる国籍の人と中国語で繋がれるのが嬉しかったです。

課外活動（ボランティア、サークル等）について

私はバドミントンサークルに入りました。友達の誘いで入ったのですが、とても楽しく活動できました。特に韓国人と仲良くなり、試合をして体を動かすことで仲が深まりました。バドミントンが終わった後は、みんなで夜食を食べに行ったりして、有意義に過ごせました。ただ、留学生は留学生向けのサークルしか申請することができず、中国人との交流がなかったのが残念でした。

滞在先(寮や一人暮らし等)の環境について

週一回の掃除サービスがあったので、部屋は割と綺麗でした。また留学生寮であったため、様々な国の人と共用のキッチンやコミュニケーションホールで交流することができました。寮の近くにはコンビニや食堂があり、授業がある建物まで自転車で5分と立地が良かったです。ただ、私はバストイレ付きの二人部屋を選びましたが、二人で住むには少し狭く感じました。他人と住むこともあって、多くの部屋で揉め事があったようです。私はしんどいながらもなんとか折り合いをつけて、割り切って生活していましたが、口論から喧嘩に発展している人もいました。他人と共同で住むのが苦手な人や、一人の時間が必要な人は、一人部屋に住むことをおすすめします。

現地での生活

やおしゃれなカフェを探したり、中国人に観光地を案内してもらったり、豫園や七宝古鎮で伝統菓子を食ったり、上海ディズニーランドに行ったりと、楽しく過ごしました。しんどいことも沢山ありましたが、普通ではできない経験をさせて頂きました。何より様々な国籍の友人ができ、世界が広がりました。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス

華東師範大学は語学留学生としての受け入れもあるので、HSK4級レベルで長期留学が可能ですが、長期であればHSK5級以上のレベルが必要だと感じました。銀行開設や携帯契約、健康診断の予約、必要書類の手配から居留許可の手続きまで、全て一人で準備しないとはいけません。私は手続きに必要な表現が分からず、翻訳機を使いながらなんとかやり終えましたが、本当に苦労しました。日常生活においても、標準語ではっきり発音してくれる授業はついていけますが、現地の人は思っているよりも早口で、訛りもあり、最初の1ヶ月はほぼ聞き取れませんでした。中には挫折して、日本人同士だけで固まっているグループを沢山見ました。幸い、私は韓国語を5年ほど勉強していたため、韓国人との交流があり、日本語を使わなかったのが、留学しているという実感を得ましたが、中国人との関わりは多くはありませんでした。中国語中級レベルの私ですが、最後には中国人の友人もでき、スムーズに生活できていたので、気負うことはありません。でも、真剣に留学を考えているなら、勉強しておいた方がかなりストレスなく過ごせると思います。

留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標

どうしても現地の環境に慣れるのに時間がかかり、中国語勉強に時間を取れませんでした。また、みんなも慣れない場所での生活から、ストレスが溜まっていたため、人間関係を良好に保つのが大変でした。次は、人間関係に振り回されず、HSKを積極的に受験したり、中国人ともっと交流を深めるなど、何よりも語学向上のための勉強に重きを置きたいと思っています。